



もしも突然の集中豪雨に襲われたら・・・もしも大きな地震が起きたら・・・あなたや家族は大丈夫ですか。発生時間が夜中や通勤中だった場合はどう行動しますか。被害を減らすためには、災害を正しく理解し、備えることが大切です。

住宅用火災警報器の設置と点検

冬は、気温の低下による空気の乾燥や暖房器具の使用機会が多くなることから、火災が非常に発生しやすい時期になります。住宅火災における人的被害の原因の多くは逃げ遅れによるものです。自分の家が火災に遭ったときに、より早く気付けるよう、全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられています。

火災警報器は電池式のものとのコンセントに差し込むものがあり、これらの取り付けには専門の資格は不要です。また、近くのホームセンターなどで購入できます。警報器本体の耐用年数はおおむね10年です。電池式の電池の耐用年数は2年のものと10年のものの2種類があります。なお、国の基準に適合し、日本消防検定協会の検査に合格した製品には、協会の鑑定マークが付いています。

火災から自分の身を守るために、自分の家に設置している火災警報器や電池について、火事のときに正確に作動するよう、設置年数などの点検をしておきましょう。今からでも遅くはありません。

問い合わせ 市防災安全課 ☎43・8107



このコーナーでは悪質商法や商品事故など実際に起きている、消費生活における問題事例を紹介しています。消費者被害は決して他人事ではありません。迷ったり、困ったりしたら、一人で悩まず、ぜひ相談してください。

相談事例 賃貸住宅の契約は慎重に!

就職が決まったので一人暮らしを始めることになりました。インターネット検索で手頃な賃貸アパートを探しています。入居するに当たりどのようなことに注意すればいいですか。

アドバイス 契約内容を十分に理解しましょう

物件の情報はインターネットで入手できますが、周囲の環境などは現地で確認することが大切です。宅地建物取引業法では契約前に支払った申込金は、申し込みを撤回した場合、返還が義務付けられています。また、賃貸借契約をする前には、必ず宅地建物取引士から重要事項の説明があります。家賃や共益費などの月々の支払いのほか、敷金、退去時のハウスクリーニング代、更新料など契約書の内容を十分に理解し、室内に傷などがあれば入居前に写真で残しておく、退去時のトラブルを防ぐことができます。

問い合わせ 市消費生活相談窓口 ☎43・8106 (毎週月曜・水曜・金曜日の午前9時～午後4時)
※県消費生活センター ☎092・632・0999 でも、随時相談を受け付けています



▲子どもたちに逆上がりのコツを教える木下さん

令和4年11月11日には、上西郷小学校の全児童を対象とした特別授業を開催しました。低・中・高学年に分かれ、45分の授業の中で、鉄棒と縄跳びを交互に実施。鉄棒の授業では、逆上がりに挑戦。なかなかできず、悔しくて泣いていた子ども、だんだんとできるようになり、最後は「できた」と笑顔に。

参加した子どもは「いつもの体育と違って楽しかった」と笑顔に。

令和4年度住みよいまちづくり推進企画活動補助事業(※)に採択された「一般社団法人ルートプラス」の取り組みを紹介します。

ルートプラスは、体育の苦手を克服し、1人でも多くの子どもが「苦手なことが好きになった」「できなかったことが、できるようになった」という経験を重ね、体育の授業が楽しみになることを目的に活動しています。

令和4年11月11日には、上西郷小学校の全児童を対象とした特別授業を開催しました。低・中・高学年に分かれ、45分の授業の中で、鉄棒と縄跳びを交互に実施。鉄棒の授業では、逆上がりに挑戦。なかなかできず、悔しくて泣いていた子ども、だんだんとできるようになり、最後は「できた」と笑顔に。

参加した子どもは「いつもの体育と違って楽しかった」と笑顔に。

(※)住みよいまちづくり推進企画活動補助事業

市民参画と共働によるまちづくりを推進するため、市民の皆さんによる企画活動に補助金を交付する事業。詳しくは市公式ホームページをご覧ください。




このコーナーでは、持続可能で、誰もが幸せなまちづくりの実現に役立つ情報を掲載しています。

問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎62・5017



体育の苦手克服!
「好きになる」プロジェクト
一般社団法人ルートプラス

令和4年度住みよいまちづくり推進企画活動補助事業(※)に採択された「一般社団法人ルートプラス」の取り組みを紹介します。

ルートプラスは、体育の苦手を克服し、1人でも多くの子どもが「苦手なことが好きになった」「できなかったことが、できるようになった」という経験を重ね、体育の授業が楽しみになることを目的に活動しています。

令和4年11月11日には、上西郷小学校の全児童を対象とした特別授業を開催しました。低・中・高学年に分かれ、45分の授業の中で、鉄棒と縄跳びを交互に実施。鉄棒の授業では、逆上がりに挑戦。なかなかできず、悔しくて泣いていた子ども、だんだんとできるようになり、最後は「できた」と笑顔に。

参加した子どもは「いつもの体育と違って楽しかった」と笑顔に。

国は、令和2年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」という目標を掲げました。市は、令和4年12月17日の第17回環境フォーラムで、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す都市として「福津市ゼロカーボンシティ」を宣言しました。その取り組みの一つとして国が示した生活者目線の具体策「ゼロカーボンアクション30」を紹介いたします。

例えば「今持っている服

ゼロカーボンアクション30に取り組もう

- エネルギーを節約・転換しよう!
- CO2の少ない交通手段を選ぼう!
- 持続可能なファッションを!
- CO2の少ない製品・サービス等を選ぼう!
- 太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう!
- 食ロスをなくそう!
- 3R(リデュース、リユース、リサイクル)
- 環境保全活動に積極的に参加しよう!

▲ゼロカーボンアクション30の8つの項目

環境掲示板

市ではSDGsの考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます。このコーナーでは、市民の皆さんの生活に身近な、ごみや動物、環境に関するお知らせをします。

問い合わせ 市うみがめ課 ☎62・5019

市は、道路や公園、海岸など公共の場所を清掃する人に「ボランティア袋」を市役所別館うみがめ課窓口で無料配布しています。ボランティア清掃で集めたごみは、通常の分別方法とは異なり「可燃物」「金

ボランティア清掃用のごみ袋と注意について

の日常生活の中で、一人一人にできる脱炭素の行動とメリットを30の項目に整理しています。「食事を食べ残さない」「節電・節水」「ごみの分別処理」など、今すぐに、そして毎日できることも挙げられています。地球温暖化の影響は生態系や農業・漁業にも及んでいると考えられ、皆さんにも身近な問題です。脱炭素社会の実現に向け、社会の仕組みを大きく変えることに加えて、日常生活の中で私たち一人一人にできることがあります。既に取り組んでいることもあると思いますが、少しでも実践できることを増やしていきたいでしょう。

令和5年7月から粗大ごみの有料化・戸別収集を開始

詳しくは市公式ホームページをご覧ください。

